



## 2019年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年4月12日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東  
 コード番号 6047 URL https://gunosy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 竹谷 祐哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 間庭 裕喜 (TEL) (03) 6455 - 4560  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の連結業績（2018年6月1日～2019年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	11,182	41.9	1,856	35.5	1,843	34.6	1,717	94.9
2018年5月期第3四半期	7,878	40.1	1,370	26.2	1,370	26.2	881	△1.2

(注) 包括利益 2019年5月期第3四半期 1,715百万円 (104.6%) 2018年5月期第3四半期 838百万円 (△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	73.30	71.12
2018年5月期第3四半期	38.76	36.49

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	13,279	10,689	79.6
2018年5月期	11,555	8,719	75.1

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 10,571百万円 2018年5月期 8,679百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

### 3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,770	31.9	2,101	8.4	2,081	7.3	1,870	273.1	79.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－  
 (注) 特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社VIDPOOL及び株式会社LayerXを第1四半期連結会計期間より、Gunosy Capital Pte. Ltd. を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：有  
 ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期3Q	23,799,774株	2018年5月期	23,376,600株
② 期末自己株式数	2019年5月期3Q	157,600株	2018年5月期	185,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期3Q	23,429,698株	2018年5月期3Q	22,732,669株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2018年5月期：185,500株、2019年5月期3Q：157,600株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年5月期第3四半期の個別業績（2018年6月1日～2019年2月28日）

個別経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	9,864	31.0	1,474	6.9	1,482	56.2	63.28
2018年5月期第3四半期	7,530	38.4	1,379	19.2	949	△1.8	41.77

2. 2019年5月期の個別業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,897	21.6	1,660	△11.4	1,608	203.4	68.49

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2017年に60.9%と前年比4.1ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（総務省調べ）、また、2018年の広告費は6兆5,300億円と7年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比116.5%の1兆7,589億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第3四半期連結会計期間において、「グノシー」のパーティカルアプリ切り出し第2弾として、クーポン情報配信に特化した「オトクル」の配信を開始いたしました。また、既存ユーザーのアクティブ率向上と新規ユーザーの獲得を目指し、「グノシー」における0円クーポンキャンペーンや「ニュースパス」におけるコメント機能のリリースなど、新たなコンテンツや施策の展開を行ってまいりました。さらに、各サービスのユーザビリティを高めるべく、引き続き日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行ってまいります。加えて、広告主の新たなニーズに応えるべく、新たな商品開発にも注力いたしました。

また、総合インターネット企業を目指し、「メディア」「広告」「ブロックチェーン」「投資」の4つの領域を事業ドメインと新たに定義し、それに伴い、株式会社VIDPOOL、株式会社LayerX及びGunosy Capital Pte. Ltd.（シンガポール）を設立いたしました。

収益面に関しては、上記の施策等によるアクティブユーザー数の順調な積み上がりにより、当第3四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を5,789百万円計上いたしました。また、既存メディアの広告在庫拡大に伴い、アドネットワークに係る売上高が順調に伸長し、当第3四半期連結累計期間で4,025百万円を計上いたしました。さらに、連結子会社である株式会社ゲームエイト及び株式会社digwellの業績が順調に伸長し、とりわけ株式会社ゲームエイトが連結業績に大きく寄与いたしました。その他、第2四半期連結会計期間において当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益391百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費1,809百万円を計上したほか、アドネットワーク売上高の伸長に伴い、アドネットワーク売上原価が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高11,182百万円（前年同四半期比41.9%増）、経常利益1,843百万円（前年同四半期比34.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,717百万円（前年同四半期比94.9%増）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計ダウンロード（以下、「DL」という）数は当第3四半期連結会計期間末において4,257万DLとなり、前連結会計年度末比で903万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,724百万円増加し、13,279百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比1,449百万円の増加）、のれんの減少（前連結会計年度末比103百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比221百万円の増加）であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて245百万円減少し、2,590百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比53百万円の増加）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比459百万円の減少）、流動負債のその他の増加（前連結会計年度末比182百万円の増加）であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,969百万円増加し、10,689百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1,717百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期通期の連結業績予想につきましては、2018年10月12日に公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日（2019年4月12日）公表いたしました「2019年5月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,767	10,217
売掛金	1,007	1,057
その他	418	557
流動資産合計	10,193	11,831
固定資産		
有形固定資産	110	94
無形固定資産		
のれん	422	318
その他	10	20
無形固定資産合計	433	339
投資その他の資産		
投資有価証券	408	629
繰延税金資産	136	116
その他	273	267
投資その他の資産合計	817	1,013
固定資産合計	1,361	1,447
資産合計	11,555	13,279
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	971	1,025
未払法人税等	629	169
株式給付引当金	31	5
その他	1,196	1,379
流動負債合計	2,830	2,580
固定負債		
株式給付引当金	5	9
固定負債合計	5	9
負債合計	2,835	2,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,975	4,046
資本剰余金	3,975	4,046
利益剰余金	930	2,648
自己株式	△199	△169
株主資本合計	8,682	10,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
為替換算調整勘定	—	1
その他の包括利益累計額合計	△2	0
新株予約権	39	64
非支配株主持分	—	53
純資産合計	8,719	10,689
負債純資産合計	11,555	13,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
売上高	7,878	11,182
売上原価	3,632	5,807
売上総利益	4,246	5,374
販売費及び一般管理費	2,876	3,518
営業利益	1,370	1,856
営業外収益		
受取利息	0	0
講演料収入	0	0
物品売却益	0	—
助成金収入	—	0
固定資産受贈益	0	—
その他	0	0
営業外収益合計	1	1
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	8
固定資産売却損	—	4
株式交付費	0	0
仮想通貨評価損	0	—
その他	—	1
営業外費用合計	1	13
経常利益	1,370	1,843
特別利益		
投資有価証券売却益	—	391
コンテンツ譲渡益	18	—
特別利益合計	18	391
税金等調整前四半期純利益	1,388	2,235
法人税、住民税及び事業税	490	503
法人税等調整額	17	19
法人税等合計	507	522
四半期純利益	881	1,712
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	881	1,717

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)
四半期純利益	881	1,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	1
為替換算調整勘定	—	1
その他の包括利益合計	△42	2
四半期包括利益	838	1,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	838	1,720
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第3四半期連結会計期間において、本社の移転時期を決定したため、移転後利用見込のない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また同様に、本社オフィスの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、償却に係る合理的な期間を短縮しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18百万円減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2018年2月28日)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。